



S3の設定プロセスについて

ONTAP 9

NetApp
February 12, 2026

目次

S3の設定プロセスについて	1
ONTAP S3 構成ワークフロー	1
ONTAP S3物理ストレージ要件を評価する	2
ONTAP S3ネットワーク要件を評価する	4
新しいONTAP S3ストレージ容量をプロビジョニングする場所を決定する	5

S3の設定プロセスについて

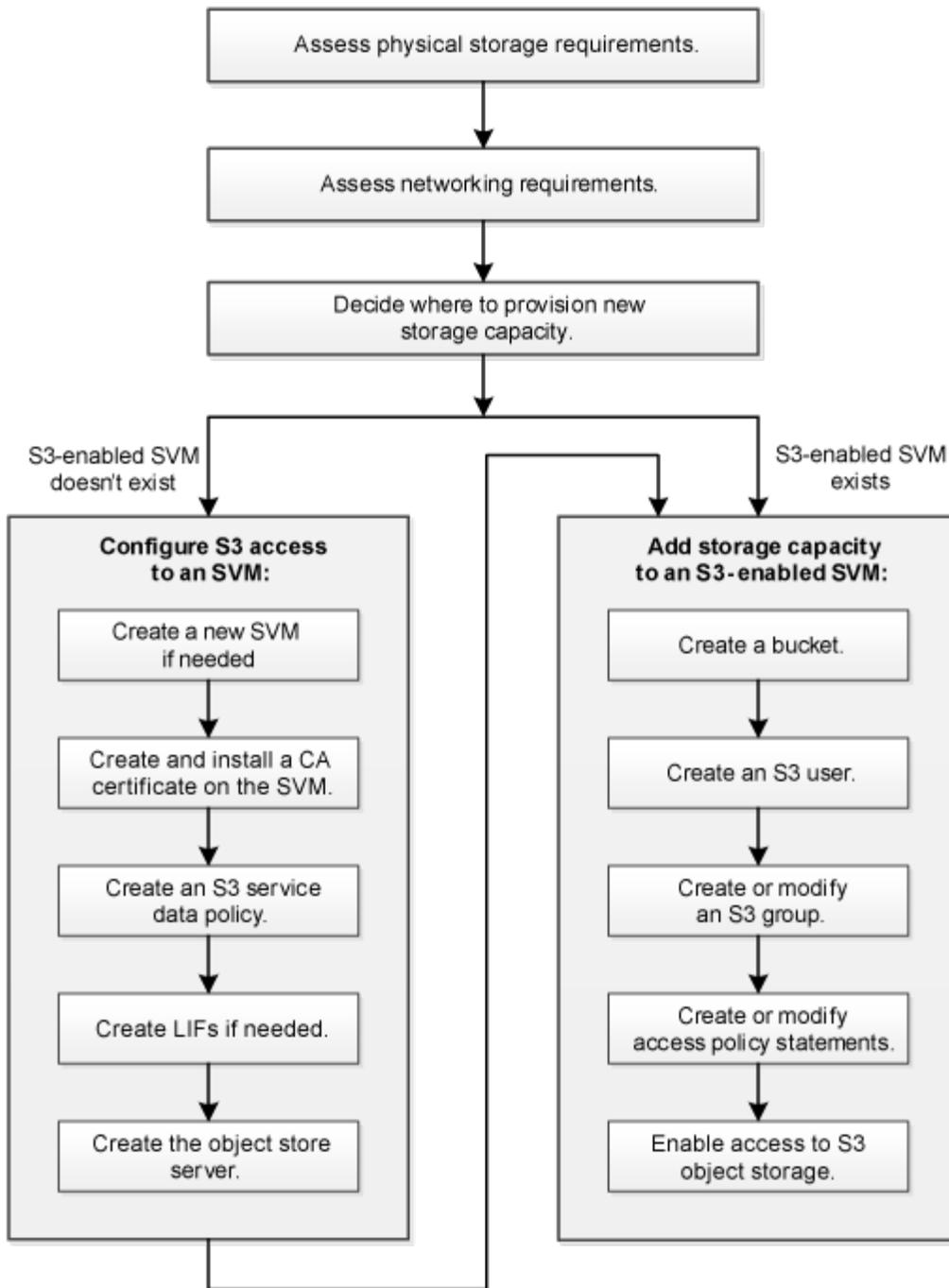
ONTAP S3 構成ワークフロー

S3を設定するには、物理ストレージとネットワークの要件を評価して、目的に応じたワークフローを選択します。新規または既存のSVMへのS3アクセスを設定するか、すでにS3アクセスの設定が完了している既存のSVMにバケットとユーザを追加するかによってワークフローが異なります。



クラスタとクライアント間の時刻同期を確保するには、ネットワーク タイム プロトコル (NTP) の設定が必要です。クライアント アクセスには、ONTAP S3オブジェクト ストアとクライアント間で少なくとも15分の差がある有効なタイムスタンプが必要になることがよくあります。"[NTPの設定方法について学ぶ](#)"。

System Managerを使用して新しいStorage VMへのS3アクセスを設定する場合、証明書とネットワークの情報を入力するように求められ、Storage VMとS3オブジェクト ストレージ サーバが1回の操作で作成されます。



ONTAP S3物理ストレージ要件を評価する

クライアントのS3ストレージをプロビジョニングする前に、既存のアグリゲート内に新しいオブジェクトストアのための十分なスペースがあることを確認する必要があります。十分なスペースがない場合は、既存のアグリゲートにディスクを追加するか、必要なタイプの新しいアグリゲートを必要な場所に作成することができます。

タスク概要

S3対応のSVMでS3バケットを作成すると、バケットをサポートするためにFlexGroupボリュームが"**自動的に作成されず**"作成されます。ONTAPに基盤となるアグリゲートとFlexGroupコンポーネントを自動的に選択

させる（デフォルト）ことも、自分で基盤となるアグリゲートとFlexGroupコンポーネントを選択することもできます。

基盤となるディスクのパフォーマンスについて特定の要件がある場合など、アグリゲートとFlexGroupコンポーネントを自分で指定する場合は、アグリゲートの構成がFlexGroupボリュームのプロビジョニングに関するベストプラクティス ガイドラインに準拠していることを確認してください。詳細については、以下を参照してください。

- ["FlexGroupボリューム管理"](#)
- ["NetAppテクニカルレポート4571-a：NetApp ONTAP FlexGroupボリュームのベストプラクティス"](#)

Cloud Volumes ONTAPからバケットを提供する場合は、基盤となるアグリゲートを手動で選択し、1つのノードのみを使用していることを確認することを強くお勧めします。両方のノードのアグリゲートを使用すると、ノードが地理的に離れたアベイラビリティゾーンに配置され、レイテンシの問題が発生しやすくなるため、パフォーマンスに影響する可能性があります。["Cloud Volumes ONTAPのバケットの作成"](#)の詳細を確認してください。

ONTAP S3サーバを使用して、ローカルFabricPool容量階層（つまり、パフォーマンス階層と同じクラスタ内）を作成できます。これは、たとえば、SSDディスクが一方のHAペアに接続されていて、_コールド_データを別のHAペアのHDDディスクに階層化する場合などに便利です。このユースケースでは、S3サーバとローカル容量階層を含むバケットは、パフォーマンス階層とは異なるHAペアに配置する必要があります。ローカル階層化は、1ノードおよび2ノードのクラスタではサポートされていません。

手順

1. 既存のアグリゲート内の使用可能なスペースを表示します。

```
storage aggregate show
```

十分なスペースを備えたアグリゲート、または必要なノードの場所にあるアグリゲートがあれば、S3設定用にその名前を記録します。

```
cluster-1::> storage aggregate show
Aggregate      Size Available Used% State  #Vols  Nodes  RAID Status
-----
aggr_0         239.0GB   11.13GB   95% online    1 node1  raid_dp, normal
aggr_1         239.0GB   11.13GB   95% online    1 node1  raid_dp, normal
aggr_2         239.0GB   11.13GB   95% online    1 node2  raid_dp, normal
aggr_3         239.0GB   11.13GB   95% online    1 node2  raid_dp, normal
aggr_4         239.0GB   238.9GB   95% online    5 node3  raid_dp, normal
aggr_5         239.0GB   239.0GB   95% online    4 node4  raid_dp, normal

6 entries were displayed.
```

- 十分なスペースまたは必要なノードの場所を持つアグリゲートがない場合は、`storage aggregate add-disks` コマンドを使用して既存のアグリゲートにディスクを追加するか、`storage aggregate create` コマンドを使用して新しいアグリゲートを作成します。

関連情報

- ["storage aggregate add-disks"](#)
- ["storage aggregate create"](#)

ONTAP S3ネットワーク要件を評価する

クライアントにS3ストレージを提供する前に、ネットワークが正しく設定されてS3のプロビジョニング要件を満たしていることを確認する必要があります。

開始する前に

次のクラスタ ネットワーク オブジェクトを設定する必要があります。

- 物理ポートと論理ポート
- ブロードキャスト ドメイン
- サブネット (必要な場合)
- IPspace (必要に応じて、デフォルトのIPspaceに追加)
- フェイルオーバー グループ (必要に応じて、各ブロードキャスト ドメインのデフォルトのフェイルオーバー グループに追加)
- 外部ファイアウォール

タスク概要

リモートのFabricPool大容量 (クラウド) 階層およびS3クライアントの場合は、データSVMを使用し、データLIFを設定する必要があります。FabricPoolクラウド階層の場合は、クラスタ間LIFも設定する必要があります。ただしクラスタのピアリングは必要ありません。

ローカルFabricPool容量階層の場合、システムSVM (「Cluster」と呼ばれます) を使用する必要がありますが、LIF設定には2つのオプションがあります：

- クラスタLIFを使用する。

この場合、LIFについて追加の設定は必要ありませんが、クラスタLIFのトラフィックが増加します。また、他のクラスタからローカル階層にアクセスすることはできません。

- データLIFとクラスタ間LIFを使用する。

この場合、LIFをS3プロトコルに対して有効にするなどの追加の設定が必要ですが、リモートのFabricPoolクラウド階層として他のクラスタからもローカル階層にアクセスできるようになります。

手順

1. 利用可能な物理ポートおよび仮想ポートを表示します。

```
network port show
```

- 可能な場合は、データ ネットワークの速度が最高であるポートを使用する必要があります。
 - 最大限のパフォーマンスを得るためには、データ ネットワーク内のすべてのコンポーネントのMTU設定が同じである必要があります。
2. サブネット名を使用してLIFのIPアドレスとネットワーク マスク値を割り当てる場合は、そのサブネットが存在し、十分な数のアドレスが使用可能であることを確認します。

```
network subnet show
```

サブネットには、同じレイヤー3サブネットに属するIPアドレスのプールが含まれます。サブネットは `network subnet create` コマンドを使用して作成されます。

`network subnet show`の詳細については、[link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/network-subnet-show.html](https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/network-subnet-show.html) ["ONTAPコマンド リファレンス"]を参照してください。

3. 使用可能なIPspaceを表示します。

```
network ipspace show
```

デフォルトのIPspaceまたはカスタムのIPspaceを使用できます。

4. IPv6アドレスを使用する場合は、IPv6がクラスタで有効になっていることを確認します。

```
network options ipv6 show
```

必要に応じて、`network options ipv6 modify` コマンドを使用して IPv6 を有効にすることができます。

関連情報

- ["network port show"](#)
- ["ネットワークオプションIPv6"](#)
- ["network ipspace show"](#)
- ["ネットワークサブネットの作成"](#)

新しいONTAP S3ストレージ容量をプロビジョニングする場所を決定する

新しいS3バケットを作成する前に、そのバケットを新規と既存どちらのSVMに配置するかを決める必要があります。それによって以降のワークフローが決まります。

オプション

- 新しいSVMまたはS3が有効でないSVMにバケットをプロビジョニングする場合は、次のトピックの手順を実行します。

["S3用SVMの作成"](#)

"S3のバケットの作成"

S3はNFSやSMBと同じSVMに配置することもできますが、次のいずれかに該当する場合は新しいSVMを作成します。

- クラスタ上でS3を初めて有効にする場合。
- S3 サポートを有効にしたいくないクラスター内に既存の SVM があります。
- クラスタ内にS3対応SVMが1つ以上あり、パフォーマンス特性が異なる別のS3サーバーが必要です。SVMでS3を有効にしたら、バケットのプロビジョニングに進みます。
- 既存のS3対応SVMに1つ目のバケットまたは追加のバケットをプロビジョニングする場合は、次のトピックの手順を実行します。

"S3のバケットの作成"

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。